

松下幸之助経営塾

[第十三期] 2016年9月開講 特別講師



佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) びあ株式会社 社外取締役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2001年より、同社代表取締役会長を務め、06年6月より、取締役相談役。08年6月より、びあ株式会社社外取締役(現任)。



渡邊 幸義 (わたなべ・ゆきよし) アイエスエフネットグループ 代表

1963年、静岡県生まれ。86年、武蔵工業大学(現、東京都市大学)機械工学科を卒業。同年、日本デジタルイクイップメント株式会社(現、日本ヒューレット・パッカー)入社。株式会社エヌ・アンド・アイ・システムズ代表取締役副社長を経て、2000年、株式会社アイエスエフネットを設立し、代表取締役社長に就任。「雇用の創造」をグループの大義に標榜し、履歴書の過去にこだわらず意欲を基準に社員を採用することを実践。就労困難者への雇用にも積極的に取り組みながら利益を出し続けている。著書に、『「未来ノート」で道は開ける!』(2008年・マガジンハウス)、『社員みんながやさしくなった～障がい者が入社してくれて変わったこと』(2010年・かんき出版)、『社長のメモ』(2011年・かんき出版)、『会社は家族、社長は親』(坂本光司氏との共著、2011年・PHP研究所)、『雇用創造革命～ひきこもりも知的障がいも戦力にする執念の経営』(2012年・ダイヤモンド社)、『美点凝視の経営』(2012年・致知出版社)、『お母さん、障がいの子どもを応援しますよ。』(2013年・学研パブリッシング)、『つながる雇用を実現します! ～誰もが輝ける会社に——アイエスエフネットの限らない挑戦～』(2015年・日本評論社)などがある。



田口 佳史 (たぐち・よしふみ) 株式会社イメージプラン 代表取締役社長

1942年、東京生まれ。72年、株式会社イメージプラン創業。以来30数年2000社に渡る企業変革指導を行う。中国古典思想研究40数年。永年にわたり研鑽された中国古典を基盤としたリーダー指導は多くの経営者と政治家を育てた。東洋倫理学、東洋リーダーシップ論の第一人者。企業、官公庁、地方自治体、教育機関など全国各地で講演講義を続け、1万名を越える社会人教育の実績がある。98年、老荘思想的経営論「タオ・マネジメント」を発表。米国でも英語版が発刊され、東洋思想と西洋先端技法との融合による新しい経営思想として注目される。2005年、教育改革の重要性を痛感し、教師養成の為に師範学校設立に参画し、「杉並師範館」前理事長。07年、21世紀の日本の在り方を探求する一般社団法人「東洋と西洋の知の融合研究所」を設立、理事長に就任。09年、我国伝統の家庭教育を再興するため一般社団法人「日本家庭教育協会」を設立、理事長に就任。著書に『タオ・マネジメント』(1998年・産調出版)、『清く美しい流れ』(2007年・PHP研究所)、『論語の一言』(2010年・光文社)、『超訳 孫子の兵法』(2013年・三笠書房)、『上に立つ者の度量』(2016年・PHP研究所)他多数。



平田 雅彦 (ひらた・まさひこ) 公益財団法人松下幸之助記念財団 監事

1931年、福岡県生まれ。54年、一橋大学商学部卒業と同時に松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)入社。その後日本ビクター株式会社に出向。同社専務取締役を経て、84年松下電器産業株式会社復帰、同社専務取締役、代表取締役副社長、常任監査役を経て、97年同社終身客員。その他日本監査役協会副会長、産業能率大学客員教授、企業社会責任フォーラム理事、エシックス・マネジメント代表など企業倫理の普及、啓蒙に携わる。現在は公益財団法人松下幸之助記念財団監事、ユニ・チャーム株式会社取締役、株式会社エイチ・アイ・エス取締役など兼任。著書に『二人の師匠——松下幸之助と高橋荒太郎』(東洋経済新報社)、『企業倫理とは 何か——石田梅岩に学ぶCSRの精神』(PHP新書)、『ドロッカーに先駆けた一江戸商人の思想』(日経BP社)など。



谷井 昭雄 (たにい・あきお) パナソニック株式会社 特別顧問、元社長

1928年、大阪生まれ。48年、神戸工業専門学校(現・神戸大学工学部)精密機械科を卒業。敷島紡績(現・シキボウ)、東洋金網(現・トーアミ)を経て、56年、松下電器産業(現・パナソニック)に入社。70年、録音機事業部長代理(のち、事業部長)、72年、ビデオ事業部長を経て、79年に取締役就任。その後、常務、専務、副社長を経て、86年、山下俊彦社長に代わり第4代社長に就任。93年に相談役、2003年に特別顧問に就任し現在に至る。また、公益財団法人霊山顕彰会特別顧問、特定非営利活動法人大阪府日本中国友好協会会長、一般社団法人日中経済貿易センター名誉会長、公益社団法人ボーイスカウト日本連盟特別顧問などを務める。



岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルビン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね——松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。